防災とAI（データから危険を予測し、情報を届ける）

観測したデータは、どのように予測と防災情報になり、わたしたちの行動につながるのだろう

1 観測する

- 雨量計
- 川の水位計
- 地震計
- 気象衛星

2 分析・予測する



大量のデータを分析して、危険を予測する

（AIを使う研究も進んでいる）

予測には、外れることや幅があることもある

3 防災情報を届ける

- 自治体の防災無線
- テレビ・ラジオ
- スマートフォンの通知

観測された情報や予測された情報を、すばやく伝える

4 住民が行動する



- 避難するかを判断する
- 家族と連絡をとる
- ハザードマップで危ない場所を確かめる

情報を待たずに、危ないと感じたら早めに避難する

考えよう

予測はAIだけで行うのではなく、観測・計算・人の判断を組み合わせている

情報を受け取ったとき、自分や家族はどう動くか決めておく

スマートフォンが使えないときに、情報を受け取る方法も考えておく

※ 模式図。観測の方法や情報の伝え方は、災害の種類や地域によって違う。